

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成8年度～		
総合計画	大項目	基本目標	05 生活環境政策「快適・活力」
	中項目	基本施策	08 快適な生活が送れるまち
	小項目	施策	34 道路環境の整備
事務事業名	07	市道等管理事業	
根拠法令・例規等		道路法	
問 合 先		担当課(室)	まち整備課
職・氏名		管理係長 瀬尾茂樹	
電 話		0869-64-1833	
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市道等利用者及び地域住民
目的(何のために)	市道等を整備し地域住民をはじめ市道等利用者の安全を図る。また、地域活性化を図ることを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市道を管理し有効に利用する。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
市道等管理業務	市道等の管理を行う	◎
道路占用許可業務	道路占用の許可を行う	◎
市道水路占用許可業務	道水路占用の許可を行う	◎
道路官民境界事務	市道などと民有地の境界の確認を行う	○
道路用途廃止業務	道路としての用途を廃止する	◎
市道認定・市道編入業務	道路を市道への認定・編入を行う	◎
特殊車両通行許可業務	特殊車両の通行を許可を行う	○
道路台帳補正業務	道路改良など変更箇所の補正を行う	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	12,144	8,746	8,140
	必要人員人件費	千円	3.15人	1.67人	1.62人
	事業費計	千円	27,237	13,944	13,525
決算額	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
	繰 入 金	千円			
	市 債	千円			
その他()					
一 般 財 源			39,381	22,690	21,665
受 益 者 負 担 比 率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	収入件数	説明	市道及び普通河川の占用許可を行った件数		
	結果指標量	件	164	184	189
	対前年比	%	-	112.2%	102.7%
	活動コスト	円	39,381,000	22,690,000	21,665,000
単位当たりコスト	円	240,128	123,315	114,630	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
苦情発生件数	目標値(A)	0	1	1	0
	実績値(B)	1	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	100.00%	100.00%	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
許可等に対する苦情件数					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低 い
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	占用料収入については、ガス事業者の導管敷設等により増加傾向にある。道路台帳については、引き続き電算化を進めるとともに、あわせて占用料システムの導入を検討する。						

総合評価	
占用等の業務については、苦情も無く処理できている。今後も申請者に対し手続き・施工についての指導を徹底し、許可によって市民生活に支障をきたすことのないよう努める。市道台帳については、認定・新設改良等を行った路線について遅滞なく整備できている。また道路維持作業員制度は相当の効果が発揮されたため、引き続き本制度を有効に活用し、パトロールの強化及び草刈作業等を定期的に行うことで安全な市道利用と道路環境整備に努められたい。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	市道台帳をはじめ橋梁台帳、占用料台帳などの整備をさせ、迅速で適正な業務の遂行に努めてたい。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

である成果指標に留意しながら有効性を評価

Plan

Do

Check

Action